

きょうされん福島支部

# TOMOだよい

2011.6.28発行 第1号

きょうされん福島支部事務局

(共働作業所ピーターパン内)

〒969-6262

福島県大沼郡会津美里町外川原甲4260-7

TEL0242-55-0053 FAX0242-55-0054

## 6/18開催 第1回 運営委員会・実践報告交流会 報告



郡山のみどり工房さんを会場に13施設26名が参加

### ～運営委員会～

- 夏の物販と試食会…夏のイチオシ商品を試食。納豆ふりかけやマンゴープリンが好評でした。また、設置するだけで、仲介料が6万円入る！きょうされん自販機の説明もあり、物販で稼ぐ！方法を紹介しました。（詳しく知りたい方はみどり工房萩野さんまで）
- 賛助会員活動…昨年度、支部の賛助会員数は261口でした。みなさんの丁寧な活動により、94%の方が更新してくれています。震災でみんなが大変な生活をしている中、新規の賛助会員募集のよびかけはしにくい。という思いもあるかもしれません。ですが、こんな時だからこそ、私たちを応援してくれる仲間とつながるチャンス。福島を応援したい。という方がいたら、是非、賛助会員加入をすすめてみてください。また、更新は8月末を目標に取組もうと確認をしました。

### ～実践報告交流会～ テーマ：震災後の仕事おこし・仕事のしあわせ・仕組みづくり

経営相談員の菅野寛氏を講師にお招きし、グループワークを行いました。各施設の仕事の状況を聞いてみると、下請け作業が激減した。放射能で土地が汚染され、農作物が作れない。など沢山の問題が出てきました。今回は、こんな仕事をしてみたら？と想像力を働かせながら仕事おこしを考えました。どうやって仕事をふやすか？集まる事・共有すること・付加価値を高めることが大事とのこと。福島のこの状況を解決していくには、みんなの知恵を出し合って動き出してゆくことが必要だと感じました。

仕事おこし開始！

## F-787プロジェクト(仮) ふくしま なのはなプロジェクト

実践報告交流会のテーマ「仕事おこし」を実際に取り組み始めています。

このプロジェクトは、原発事故により汚染された大地を除染する活動とともに、作業所の仕事おこしをするもので、作業所だけでなく、企業や様々な専門家とともに活動し、元気な福島を取り戻そうという目的で進められています。きょうされん福島支部もプロジェクトを進めるメンバーです。

現在、取り組み始めたことは…

☆県内外にひまわりを植えよう！

☆南相馬の仕事おこしをしよう！

です。

### ☆ひまわりを植えよう！の取り組み☆

共働作業所にんじん舎の畑にひまわりの種を蒔きました。畑の表土は1万4千ベクレルと高い放射線量で（耕した後は1400ベクレルになったそうです）、にんじん舎のモットーとする食の安全には適さない土地となってしまいました。ひまわりや菜の花は土壤に含まれるセシウムなど放射性物質の吸収率がよいといわれています。今年は畑の線量がどのくらい下がるかの試験も兼ねての作付け。

また、きょうされん秋田・宮城支部でもひまわりを育て始めてくれています。県外の種は来年蒔くものとして、また、ひまわり油を作ったり、食用として加工するなど、作業所の仕事おこしにつながります。

ひまわりの蒔き時期は終わりに近づいてますが、秋には菜の花の種を蒔き、年間通して除染活動を続けます。沢山の花が、福島の大地を元気にしてくれるはず！

みなさんも是非、このプロジェクトへのご協力をお願いします。



次回の仕事おこしコーナーでは、南相馬の取り組みを紹介します。

ふくしま応援バッジやTシャツ作成など、南相馬の仕事おこしはアイデアいっぱい！

# 全国からの応援 ありがとうございます！

JDF被災地障がい者支援センターふくしまを通じ、全国から沢山のきょうされんの仲間が福島支援にかけつけてくれています。4月からこれまでに来てくれた人数は、140名を超えてます。鹿児島・福岡・熊本の九州勢、北陸は福井から、また京都・兵庫・奈良・和歌山の関西勢、関東からは神奈川から。中には、2回目、3回目と支援に入ってくださる方もいます。

## 全国支援チームの活動内容

4月……支援物資の運搬

県内一次避難所の訪問調査

〃 二次避難所への周知活動  
デイサポートぴーなっつの支援

5・6月……支援物資の運搬

南相馬市緊急時避難計画区域の  
調査活動

デイサポートぴーなっつの支援

～一次避難所訪問調査をした方～

●被災・原発の問題で避難所を転々とし、

先の見通しが何もない状況で避難生活を続いている方々と話すことで、福島県の困窮を感じることが出来た。

●出発まではTVや新聞で様々な情報を得て現地に入りましたが、10日間の活動で今迄見えていなかった細部が少しづつ見えてきて、本当の大変さはこれから…と感じました。

●障害のある人特有の問題の前に、障がいのない人さえ、住み慣れた地域を追われ、県内・外の避難所を転々とされている。地震や津波で被害を受けた他県に加えて原発問題を抱える福島県は大変な重荷を背負っている。福島県の状況を伝えてゆくことが、派遣された私たちにできることを感じた。

支援に入った感想

～ぴーなっつの支援、南相馬市避難計画調査に参  
加された方々～

●ぴーなっつの仲間から元気を逆にもらった。どん  
な状況になろうとも、仲間の「働きたい」という気持ち  
がある事に驚いた。

●福島に来れてよかったです。たくさんの人と会ってよ  
かった。

●訪問活動をして、殆ど避難をされていて、町の生  
活感があまり感じられなかつたが、数の方に会う  
ことが出来た。障がいがあるために本人だけでなく、  
家族も避難できない。ストレスから体調を崩したり、  
様々な情報を得ることができなかつたり。仕事もなく  
経済的にも生活が困難な状況であることを肌で感じ  
られ、何としても復興をしないといけないと思った。



支援センター代表白石さんと支援チームのみなさん。  
活動お疲れ様でした。

## 困ったな…一人で悩まず相談を！

被災地障がい者支援センターふくしまでは、  
今回の東日本大震災で被災された障がい者の  
皆様に対し、必要な情報の提供や様々な相  
談を受け付けています。

### ●被災地障がい者支援センターふくしま●

住所 〒963-8025 郡山市桑野1-5-17

電話 024-925-2428

FAX 024-925-2429

相談直通 024-983-7646

メール hisaichisoudan@cameo.plala.or.jp

受付時間 平日以外も土日、祝日も対応！

午前8時30分～午後5時30分

避難先での生活・将来、医療や教育・療育、就労など  
様々な悩みを持っている方、お気軽にご相談下さい。

### ひとこと。

震災で大きな被害を受けている福島県。

このような日々が来るなんて想像もせず、毎日仲間と仕事をしてきました。今回、沢山の方の応援をいただき、あらためて人と人とのつながりの大切さを感じました。福島支部を応援してくれている会員さん・賛助会員さんに私たちの活動をもっと知ってもらおう！そんな思いでTOMOだよりを発行することとなりました。今後も、福島支部の活動や会員さんの生の声をお届けしてゆきますので、よろしくお願ひします。

## 南相馬に集まろう！

きょうされん福島支部

### 新任・中堅職員研修会

震災以来、私たちの生活に重くのしかかっている、福島原発事故。いまだ開所できな事業所や仕事が激減している作業所もたくさんあります。

とてつもなく大きな難題を前にして、どんな方法で、どうやって歩いてゆけばよいのか、みんなが苦惱しています。

ひとつひとつの作業所がやれることには限りがあります。でも、このふくしまで思う存分仕事をし、思う存分生きてゆくにはどうしたらいいのか、みんなで知恵を搾り出す。前を向いて歩けるように！そんな元気の出る研修会です。

今回は、南相馬支援活動のチームリーダーとしても活動していただいている「ほのぼの屋」西澤心さんを講師にお招きしています。ほのぼの屋は、本格的なフレンチが気軽に楽しめるお店として、地元の人たちから愛されているお店です。そんなお店の支配人を務める西澤さんからは、仕事の楽しさやヒントをいっぱいもらえるはず！

●開催日 7/9(土)12:00～10(日)12:00まで

●会場 南相馬市原町 ホテル森の湯

●参加費 きょうされん会員9,000円 その他10,000円  
(宿泊・夕食交流会含む)

※研修のみの参加も歓迎！

(会員1,000円 その他2,000円)

詳細は、事務局にお問合せ下さい。